

水稻生育診断速報

2024 No.2

令和6(2024)年6月14日
農政部経営技術課技術指導班

☆☆☆ 生育概況 (6月7日調査) ☆☆☆

<早植コシヒカリ>

草丈：那須町、塩谷町、小山市で昨年を上回るが、全体的には前年よりやや短い(96%)
茎数：那須地区、芳賀町で昨年より多い。全県平均では前年よりやや少ない(97%)
葉齢：那須烏山市で進んでいるが、その他の地域は前年並みからやや遅れている。
葉色：全県的にバラついているが、前年並み

<早植とちぎの星>

草丈：宇都宮市でやや長いものの、前年よりやや短い(97%)
茎数：さくら市では多いが、農研センターでは少なく、全体的には前年並み(99%)
葉色：葉色版での葉色は前年並み(-0.1)

○ 気象概況

5月下旬：旬の前半は高気圧に覆われて晴れの日がありましたが、旬の後半は低気圧や前線の影響により曇りや雨の日もありました。宇都宮の旬平均気温は高く、旬間日照時間は平年並、旬降水量は少なくなりました。

○ 生育調査結果

【早植コシヒカリ】 県内10カ所

前回調査以降の気温がやや高く経過したため、生育は順調でしたが、昨年より気温が低めに経過したことから、前年ほど生育は進みませんでした。草丈は那須町(前年比104%)、塩谷町(前年比104%)、小山市(前年比104%)と長くなった所もありますが、全体的には前年よりやや短くなりました(前年比97%)。茎数はバラツキが大きく、那須町(136%)、那須塩原市(121%)、芳賀町(130%)と前年を大きく上回りましたが、塩谷町(62%)、日光市(82%)、宇都宮市(86%)と前年より少ない所もあり全体的には前年比97%とやや少なくなっています。葉齢は昨年とても進んだ那須塩原市、宇都宮市は昨年ほど進んでいませんが、この2地点を除くと、昨年並みの生育となっています。葉色は塩谷町、宇都宮市で昨年より淡い傾向だが、全体的には前年と同程度となっています。

【早植とちぎの星】 県内4カ所

とちぎの星の草丈は宇都宮市で前年より長くなりましたが(前年比109%)、その他の地点では前年より短く全体的にはやや短く(前年比97%)なりました。茎数は前年が少なかったさくら市(125%)は多く、例年茎数を多く確保している農研センター(90%)は少なくなったが、平均すると前年並みに茎数を確保しています(99%)。葉色はSPAD、葉色板ともに前年並みとなりました。

○ 農研センター地温の推移

今年の農業総合研究センター水田の地温は前年と同じような推移を示しています(図)。昨年と異なるのは、昨年(2023年)は5月23~27日に地温が低下しましたが、今年は温度を確保しながらゆっくり上昇しています。基肥一発肥料の溶出も順調に進んでいるものと思われます。

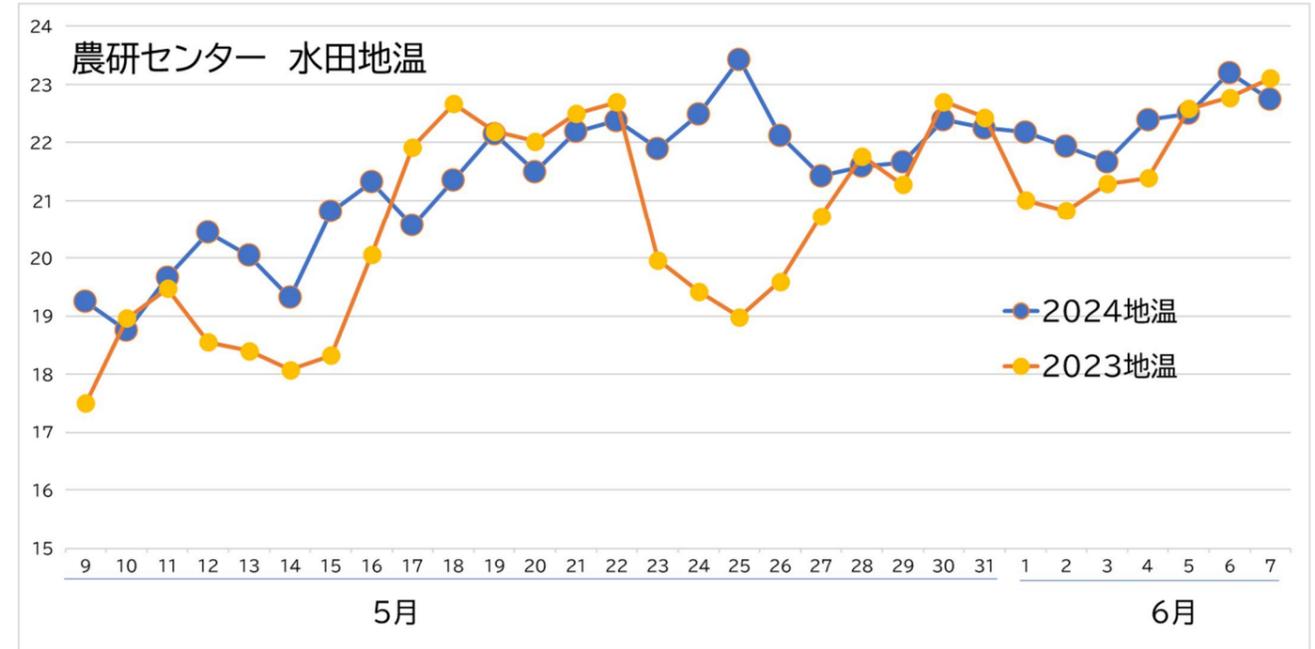


図 農業総合研究センター水田の地温推移

気象庁 関東甲信地方1か月予報(6月6日発表)

関東甲信地方 1か月予報 (06/08~07/07)	
2024年06月06日14時30分 気象庁 発表	
特に注意を要する事項	期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。
向こう1か月 06/08~07/07	天候 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 気温 平均気温は、高い確率70%です。
1週目 06/08~06/14	気温 1週目は、高い確率50%です。
2週目 06/15~06/21	気温 2週目は、高い確率70%です。
3~4週目 06/22~07/05	気温 3~4週目は、高い確率50%です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 06/08~07/07	10 20 70
		1週目 06/08~06/14	10 40 50
		2週目 06/15~06/21	10 20 70
		3~4週目 06/22~07/05	20 30 50
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 06/08~07/07	30 30 40
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 06/08~07/07	30 40 30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

□■□ 今後の技術対策 □■□

BLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果(令和6年度)

発生指標	?:判定不能	-:好適条件なし	1:準好適条件1	2:準好適条件2	3:準好適条件3	4:準好適条件4	●:好適条件			
	黒磯	大田原	日光東町	塩谷	那須烏山	鹿沼	宇都宮	真岡	佐野	小山
6月1日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月2日	-	4	-	4	4	-	-	-	●	-
6月3日	-	4	-	3	4	3	-	-	-	-
6月4日	-	4	3	3	4	-	-	-	4	-
6月5日	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
6月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月7日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

クモヘリカメムシ(発生予測) JPPネット有効積算温度計算シミュレーションより

【2024年】

No.	設定名称	黒磯	大田原	塩谷	那須烏山	鹿沼	宇都宮	真岡	佐野	小山
1	越冬)産卵期	6月18日	6月4日	6月10日	6月4日	6月3日	5月26日	5月29日	5月23日	5月25日
2	第1)ふ化期	7月6日	6月19日	6月26日	6月18日	6月18日	6月8日	6月12日	6月4日	6月7日
3	第1)羽化期	8月15日	8月3日	8月15日	8月1日	8月4日	7月18日	7月22日	7月15日	7月18日
4	第1)産卵期				8月30日		8月14日	8月18日	8月11日	8月14日
5	第2)ふ化期						8月28日		8月25日	8月28日

【平年値】

	設定名称	黒磯	大田原	塩谷	那須烏山	鹿沼	宇都宮	真岡	佐野	小山
1	越冬)産卵期	6月28日	6月21日	6月23日	6月18日	6月19日	6月12日	6月17日	6月11日	6月10日
2	第1)ふ化期	7月9日	7月3日	7月4日	6月29日	6月30日	6月24日	6月28日	6月22日	6月21日
3	第1)羽化期	8月6日	7月31日	8月1日	7月26日	7月28日	7月21日	7月25日	7月19日	7月18日
4	第1)産卵期	8月24日	8月17日	8月18日	8月11日	8月14日	8月6日	8月10日	8月4日	8月3日
5	第2)ふ化期		8月27日	8月28日	8月20日	8月23日	8月15日	8月19日	8月12日	8月11日

(1) 水管理

今年は、気温が高く経過しているため、5月の連休に植えたほ場では、すでに必要茎数が確保されていますので(コシヒカリで360本~380本/m²)まだ、実施していないほ場では間断かん水を開始してください。分けつが過剰になると、無効茎が増化し、茎が細くなり倒伏の原因になります。また、籾数過剰で品質が低下しやすくなります。1か月予報でも、今後は暑くなることが予想されます。籾数の過剰は収量・品質面で、ともにマイナス要因になりますので茎数を増やさない事が肝要です。

(2) 病害虫の防除

《いもち病(葉いもち)》

BLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果では、6月2日に佐野アメダスで、感染好適条件が出現しています。その他の地域でも6月2日~5日に準好適条件が出現しています。

いもち病は気温 25℃~28℃で湿度の高い条件で感染拡大がすすみます、梅雨に入ると発生が多くなりますので、ほ場を良く見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。なお、いもち病の防除は、発生前の予防剤(粒剤)施用が効果的です。また、いもち病の発生源となる取置き苗は早急に処分するようにしましょう。

《斑点米カメムシ》

カスミカメなどの小型のカメムシは、卵で越冬し春先にふ化します。この時、畦畔のイネ科の雑草やイネ科の牧草などで成長し、水稻が出穂すると水田に飛び込みます。小型のカメムシは4月下旬にはふ化していますので、放置された牧草などが水田周辺に無いように地域で話し合いを行ってください。

クモヘリカメムシなどの大型のカメムシは、成虫で越冬します。主に平地林などの林などで越冬していますが、例年は6月下旬に越冬した成虫が産卵します。今年のクモヘリカメムシの発生予測を行ったところ、5月下旬から6月中旬に産卵期を迎える予測となりました。今年は、カメムシの動きだしが早そうです。また、発生が地域によって長く続きそうですので例年より畦畔の草刈りなどで、イネ科雑草を出穂させない管理が大切になります。

また、水田内に発生しているノビエやホタルイなども、カメムシの発生源になりますので除草しておきましょう。



(ノビエ)



(イヌホタルイ)

【参考データ】

【コシヒカリ：本田における生育調査結果】

No.	設置場所	草丈(cm)			1株本数			茎数(本/m ²)			葉齢			葉色(葉緑素計)			葉色(葉色板)			葉色×茎数		
		本年	前年	比(%)	本年	前年	比(%)	本年	前年	比(%)	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	比(%)
1	那須町寺子丙	31.7	30.6	104%	13.9	9.7	143%	244	179	136%	6.8	7.0	-0.2	30.0	29.4	0.6	3.8	3.8	0.0	924	673	137%
2	那須塩原市一区町	38.7	40.8	95%	31.9	26.3	121%	596	492	121%	7.9	9.4	-1.5	37.8	37.4	0.4	4.4	4.3	0.1	2,637	2115	125%
3	塩谷町玉生	33.5	32.2	104%	11.5	17.5	66%	204	328	62%	7.5	7.5	0.0	36.3	36.9	-0.6	3.4	4.3	-0.9	694	1408	49%
4	那須烏山市福岡	37.4	39.1	96%	23.1	21.7	106%	432	424	102%	9.0	8.5	0.5	38.5	38.3	0.2	4.0	4.3	-0.4	1,706	1823	94%
5	日光市木和田島	38.3	37.4	102%	21.5	26.2	82%	449	512	88%	8.0	7.7	0.3	40.5	40.3	0.2	3.9	3.6	0.3	1,742	1848	94%
6	鹿沼市久野	32.8	33.2	99%	11.8	21.5	55%	188	324	58%	7.3	7.7	-0.4	35.1	37.1	-2.0	3.4	3.3	0.1	639	1073	60%
7	宇都宮市川田町	32.2	38.0	85%	20.0	23.3	86%	372	418	89%	7.6	9.1	-1.5	41.4	41.5	-0.1	4.0	4.6	-0.6	1,501	1925	78%
8	芳賀町東水沼	27.8	34.2	81%	14.6	10.2	143%	273	210	130%	8.2	8.1	0.1	41.7	40.2	1.5	4.0	4.2	-0.2	1,081	879	123%
9	小山市鏡	43.9	42.3	104%	36.8	32.9	112%	701	659	106%	8.7	8.7	0.0	44.5	46.2	-1.7	4.0	3.8	0.2	2,823	2502	113%
10	農業総合研究センター	36.3	37.9	96%	20.1	22.1	91%	446	491	91%	8.2	8.4	-0.2	41.2	38.3	2.9	3.6	3.9	-0.3	1,596	1921	83%
平均	全量基肥平均	35.3	36.6	96%	20.5	21.1	97%	390	404	97%	7.9	8.2	-0.3	38.7	38.6	0.1	3.8	4.0	-0.2	1,534	1617	95%
分施	農業総合研究センター	37.9	39.1	97%	20.8	26.6	78%	461	592	78%	8.2	8.7	-0.5	41.2	39.2	2.0	3.6	3.9	-0.3	1,669	2334	72%

※葉色は葉色板の数値

【とちぎの星：本田における生育調査結果】

No.	設置場所	草丈(cm)			1株本数			茎数(本/m ²)			葉齢			葉色(葉緑素計)			葉色(葉色板)			葉色×茎数		
		本年	前年	比(%)	本年	前年	比(%)	本年	前年	比(%)	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	差	本年	前年	比(%)
11	さくら市狭間田	33.3	33.9	98%	13.9	10.9	128%	243	195	125%	7.4	7.5	-0.1	39.6	41.8	-2.2	4.1	4.5	-0.4	996	876	114%
12	宇都宮市下桑島町	33.6	30.8	109%	13.2	14.1	94%	253	250	101%	8.1	7.3	0.8	43.4	37.9	5.5	4.0	4.0	0.0	1,019	999	102%
13	真岡市清水	29.2	32.5	90%	14.4	12.9	112%	272	277	98%	7.5	7.0	0.5	43.5	44.6	-1.1	4.6	4.3	0.3	1,240	1,179	105%
14	農業総合研究センター	32.9	35.7	92%	21.1	23.5	90%	469	523	90%	7.9	8.2	-0.3	42.5	40.4	2.1	3.6	4.0	-0.4	1,677	2,094	80%
平均	早植平均	32.3	33.2	97%	15.7	15.35	102%	309	311	99%	7.7	7.5	0.2	42.3	41.2	1.1	4.1	4.2	-0.1	1,233	1,287	96%

※葉色は葉色板の数値